

「大分市子どもの読書活動推進計画（第四次）（案）」の概要

1 計画の概要

(1) 策定の趣旨

2016（平成 28）年度に策定した「大分市子どもの読書活動推進計画（第三次）」の最終年度である 2020（令和 2）年度を迎え、これまでの計画における取組の成果と課題を踏まえ、新たに大分市における子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進するために「大分市子どもの読書活動推進計画（第四次）」を策定する。

(2) 計画の期間

2021（令和 3）年度から、5 年間とする

(3) 計画の対象

0 歳からおおむね 18 歳までの子どもとする。なお、子どもの読書活動の推進に関わる保護者をはじめ、市民ボランティア、行政関係者等も対象としている。

2 第三次計画における成果と課題

(1) 成果

子どもの興味・関心や季節に合わせた図書コーナーを設置したり、読書への関心が高まるような教室・講座を開催したりして、子どもの自主的な読書活動を推進できた。また、読み聞かせの会や各施設が発行している「たより」等を通して、読書の意義や読書習慣形成の重要性について保護者へ啓発できた。

(2) 課題

子どもの発達段階に応じた環境づくりや本の紹介、障がいのある児童を含め、あらゆる子どもに対応した資料の収集、全ての保護者への「家読（うちどく）」の啓発、読書ボランティア等を通じた家庭・地域・学校等の連携について課題がみられた。

3 第四次計画の基本的な考え方

(1) 計画の目標及び重点方針

〈目標〉 ●子どもの読書習慣の形成 ●子どもの読書活動を支援する環境の整備

〈重点方針〉

- ①子どもの自主的な読書活動の推進
 - ・子どもの発達段階に応じた読書情報の提供と読書活動の支援
 - ・子どもの興味・関心やあらゆる子どものための読書環境の整備と資料収集
- ②子どもの読書習慣の形成に向けての保護者への啓発
 - ・読書の意義や読書習慣形成の重要性についての啓発
 - ・「家読（うちどく）」の紹介と家庭での読書活動の推進
 - ・親子で本に親しむ機会の提供
- ③家庭・地域・学校等が連携した読書環境の整備
 - ・読み聞かせボランティア等の育成と活用
 - ・読書に関する情報の共有

4 計画の体系

